

中高等学校の近況報告

茨木

教頭 相馬 すみひこ



はじめに>>>

山桜会設立90周年おめでとうございます。昨年は、高2修学旅行の件で山桜会会員の皆様には、ご心配をおかけし申し訳ございませんでした。お詫びとともに、数々のお励ましに対しまして厚くお礼申し上げます。

さて、昨年度末に土井邦孝前校長が退任され、4月からは岡本平新校長をお迎えし、新しい体制で、更なる学校の発展に向けて取り組みを進めております。

教育活動>>>

茨木の中高は皆様もご存じのように、コース制を軸とした教育改革に取り組んで7年目を迎え、着実に実績を積んでまいりました。本年も国公立44名、関関同立216名の合格を果し、とりわけ大阪市立大学3名、大阪府立大学4名、京都教育大学2名など近畿圏の国公立大学へ22名が合格しています。来年は、中学にコース制を導入してからの第1期生が卒業しますが、模試の成績などでは京大・阪大などにチャレンジできる判定の生徒が数名でています。

総合文理コースで生徒の積極性を引き出したいという意図から実施した本校独自の「特別講座」も今年で三年目となり、進学実績の支えになっていると考えています。中学校ではコースの特性をさらに明確にするための、新たなコース別宿泊行事を実施するなどの取り組みを進めています。

学校生活>>>

「基本的な生活習慣の確立」を重要な指導目標として、生徒自身が自らの行動とその結果に自信と誇りを持てるように、日々の生徒指導にあたっています。数年来の登校指導も一定の成果がみられましたので、今年は、とくに下校指導に力を入れていくつもりです。

クラブ活動では、コーチ制の導入により、各クラブが優秀な成績を残せるようになりました。たとえば、今井佳奈さんが国体馬術の部で3位入賞、空手道部が女子団体で近畿大会出場、演劇部が大阪府大会で優秀賞を獲得するなどの実績をあげました。また、中学校については、従来なかったテニスサークルとパソコンサークルのサークル活動を認め、生徒のクラブ活動に対する意欲の高まりに応じています。

新校舎建設>>>

120周年記念事業の一環として、高校棟の建設が決定されました。現在の茨木キャンパスに建設し、延べ床面積7000m²、予算1.5億円、2008年8月竣工の予定で、現在は基本構想を固める作業に着手している状況です。

さいごに>>>

茨木中高の近況は上述の通りですが、大学のキャンパス整備計画の進行に伴い、茨木キャンパスは大きく変化しています。卒業生をはじめ山桜会の会員の皆様には、機会があればぜひ茨木キャンパスにお越しいただき、ご自身の目でお確かめいただきたいと存じます。今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

大手前

教頭 南 登章生



近畿統一の中学入試元年。昨年と比べ、大阪の6年生は1615名減。奈良・和歌山のお試し受験がなくなり統一入試の余波は、大阪に順風の入試で、高倍率、高レベル、手続き率の良い入試となりました。昨年度265名の志願者に対し、今年は358名の志願者と大幅に増加しました。この現象は、9月の駿々堂模試にも現れ、志願者動向の伸び率は、大阪私学の常に上位にあり、10月のプレテスト受験者や成績アドバイス会への参加も昨年度比50%増で、説明会などへの増員も堅調となった。この志願者増は、本校の面倒見の良さで温かく生徒を伸ばしているという評価によるもので、模試データの伸び率や各学年の手厚い指導が認知され、上本町周辺の大手塾からも志願者が倍増しました。今、伸ばす名門・伝統校として、ある大手塾からも「名門の復活は早い」の声もあります。

本校の本年度の入試では、A日程でも志願者増加、特にB・C日程で難化し、特進の合格ラインは65%程度にまで上昇、高倍率でレベルアップの入試となりました。

2月25日からは、新入生に2度来校頂き、早々プレスクールが始まり、スタートダッシュ。4月初旬には琵琶湖にて2泊3日のプレキャンプで追手門イズムの鍛錬をすませ、4月7日には入学式を終え、意欲溢れる中学60期165名、高校57期152名の新入生を迎えました。

すでにお気づきの通り、皆様の温かなご声援とご厚志により、お陰様でいよいよ新校舎建設が進み、玄関には3階建の仮設中学校舎・中庭には2階建の特別教室の設営。5月初旬には「校舎惜別の集い」、5月から懐かしの体育館・北館・西館の解体が始まります。

大学入試でも関関同立78名・産近甲龍46名合格と好調。日々の生徒達の頑張りから先生方にも喜びの成果が手応えとなりつつあります。

今、在校生へのより一層の熱い指導を実践し、学力を伸ばすことを第一義の責務として、更に気を引き締めて全教員が努力を誓います。

何卒、皆様の益々のご理解とご支援をお願い申し上げます。

ステンレス加工のパイオニア

株式会社 精和工業所

代表取締役社長 山下 清一

兵庫県伊丹市北本町3丁目105番地
TEL:072-782-0281(代表)

<http://www.seiwa-ic.co.jp>

弁護士法人
川原総合法律事務所
Kawahara Law Office

弁護士 川原俊明
(小71・中高14期)

弁護士 中村信仁

弁護士 尾熊弘之

弁護士 稲永泰士

弁護士 中橋 敦

弁護士 杉本智則

弁護士 箸尾朋典

〒530-0047 大阪市北区西天満2丁目10番2号 幸田ビル8階

TEL : 06-6365-1065 (代表) FAX:06-6365-7265

IP電話:050-5520-4503

E-mail:kawahara@e-bengo.com

<http://www.e-bengo.com>

快適で安全な住みよい 社会づくりを目指して

建物総合管理の**双葉グループ**は
プロ集団として皆様と共に前進します。

- 清掃業務・設備管理等ビルメンテナンス
- 常駐警備・機械警備業務
- 人材派遣

株式会社 双葉化学商会

電話 06(6531)6571

FAX 06(6531)6605